

船橋市

市民公益活動公募型支援事業

実施事業事例集



「市民公益活動公募型支援事業 実施事業事例集」の発行にあたって

「船橋市市民公益活動公募型支援事業」は、「市民との協働によるまちづくり」があらゆる場面で展開されるように、市民の皆さんによる地域に役立つ取組みに対し、平成22年度に創設されました。市民活動団体から提案のあった事業について、その内容を審査し、公益性や必要性があるとされた事業に対して、市が支援金を交付します。支援金の種類は、「事業立上型」と「事業提案型」があり、それぞれ支援率と限度額を設定しています。

「市民公益活動公募型支援事業 実施事業事例集」は、当事業を創設した平成22年度から、採択事業を実施した団体の協力を得て毎年度作成しており、今回で8冊目となります。

なお、これまで作成した事例集は、船橋市のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

支援金の種別	支援率	限度額
事業立上型 設立から3年未満の市民活動団体が行う新規公益事業の実施に対し交付する支援金（交付は1回に限ります。）	支援対象経費の80%以内	20万円
事業提案型 市が市民活動団体から提案を受けた公益活動の事業費に対し交付する支援金（同一事業による継続は原則3年度を限度とします。）	支援対象経費の50%以内 ※1	100万円

※1 提案内容が特に公益性の高い事業であると認められた場合は80%

平成31年度実施事業の募集については支援金の内容を一部変更しています。詳細は「平成31年度実施事業募集要領」をご覧ください（市民活動サポートセンター及び市民協働課で配布している他、市のホームページに掲載しています）。

【市民公益活動公募型支援事業 平成29年度実施事業一覧】

No	団体名	事業名称（全て事業提案型）	頁
1	アースドクターふなばし<<edf>>	～次世代を担う子どもたちに向けて～ 地球温暖化防止・啓発事業	2
2	ワーカーズコープちば	制服バンク	3
3	NPO 法人環境を考える市民の会	市民と育む持続可能な環境に向け学び塾の実施	4
4	三番瀬写真展実行委員会	第5回みんなの三番瀬写真展	5
5	船橋市援農クラブ	農業ボランティア事業	6

【平成29年度実績詳細】

	申請（件）	採択（件）	交付（件）	支援金確定額（円）
立上型	2	0	0	0
提案型	5	5	5	598,520
合計	7	5	5	598,520

【これまでの実績】

	交付数（件）			支援金確定額（円）
	立上型	提案型	計	
平成22～29年度合計	27	116	143	26,354,318

【アースドクターふなばし「edf」】

記入日：平成30年3月26日

【団体の概要】

私たち edf は、2007年7月発足以来、一貫して“めざすはストップ温暖化”をスローガンに、地球温暖化問題を一人でも多くの方に知って戴くため、出前講座やフェア・イベントへの出展を行って来ました。市民の方々を対象に、身の廻り（足元）から実りある行動に結び付く出前講座・啓発活動を展開して行きたいと考えています。



【講演会：山崎直子氏（宇宙飛行士）】

事業報告

【支援金確定額：279,782円 支援率：80%】

■実施した事業の内容

従来活動をベースに、市民の方々、特に「次世代を担う子どもたち」を対象に、地球温暖化防止の目的達成に向けて、“新たな啓発事業”としてイベントを実施しました。

◆広く市民への啓発・公益性を考え、最も影響力のある、山崎直子宇宙飛行士による講演を実施。

- ・日時：2017年8月8日（火）13時～16時
- ・場所：中央公民館（6階・講堂&ロビー）
- ・テーマ：宇宙飛行士 山崎直子氏と語る“かけがえのない地球”
- ・内容：講演（1時間）と質問コーナー（30分）、ロビーでのパネル展示
- ・参加者：小学校高学年～成人：253名

◆イベント関連事業として、学校・公民館での地球温暖化防止に関する出前講座・出前授業を実施しました。

■支援金の支出内容

- ・事業の広報と参加者募集のためのポスターおよびチラシ作成
（ポスターとチラシは、小学校と中学校での配布、公民館、図書館等への設置に利用）
- ・講演会時の講師への謝金およびパネル展示でのパネル作成
（パネルはイベント後の出前講座やフェア・イベントでも利用）
- ・学校・公民館での地球温暖化防止に関する出前講座での「お話」＋「体験」時の体験ツール購入



【出前授業（小学校）】

■事業の成果と今後の展望

253名もの多くの市民の方々（小学生～成人）の参加を得、更に172件のアンケートを戴きました。講演＆質問コーナーに関し種々評価を戴き、今後の具体的・身の廻りの行動に結び付くものと思います。また、本イベントの実施に際し、船橋市教育委員会の後援を得、推進する過程で多くの方々や団体の協力・支援を受けることが出来ました。

今回の事業を契機に更なる地球温暖化防止に向けた啓発活動を推進して行きたいと考えます。

■問い合わせ先：事務局長 阿部 利美（あべ としみ）

TEL：047-449-2278

E-mail: toshimi.abe@nifty.com

〔ワーカーズコープちば〕

記入日：平成 30 年 5 月 18 日

【団体の概要】

私たちワーカーズコープちばは、地域に必要な仕事を自らおこし、働く協同組合です。

(例)

地域福祉事業所運営、手作りおべんとう、病院売店、コミュニティサロン運営、千葉市と習志野市からの生活困窮者自立支援委託事業、建物管理、病院清掃、職業訓練講座運営、フードバンクちば



【高根台団地文化祭での販売風景】

事業報告

【支援金確定額：49,222 円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

船橋市内の公立中学校制服のリユース活動を行いました。着られなくなった制服や、必要のなくなった制服を寄付していただき、集まった制服は補修や名前の刺繍をはずすなどして、洗濯もしくはクリーニングした後に、実費程度で必要な人にお渡ししました。

制服の回収場所や販売場所は、ワーカーズコープちばの事務所はもちろん、ふなばし子ども食堂ネットワークにも協力していただき、イベントでは無い継続的な活動を行いました。

■支援金の支出内容

回収や販売に必要なチラシやポスター作製の費用や、制服を仕分けるためのテープ、値札などの消耗品、保管や販売のためのラック、カゴなどの購入に支援金を使いました。



【ボランティアによる刺繍はずし】

■事業の成果と今後の展望

制服の補正や名前の刺繍はずしは地域の方々がボランティアで参加して下さったり、クリーニングはクリーニング事業を行っている福祉作業所が趣旨に賛同して下さり格安で引き受けてくれたり、制服という媒体を使って、地域が子どもたちの学校生活を支えるという連携を生むことができました。

活動をする上で、必要な人たちほど情報が届きづらいという情報格差があるという事がわかりましたので、引き続き知ってもらう事に重点を置いた活動をしていきたいです。

■問い合わせ先：制服バンク担当 及川 恵 (おいかわ めぐみ)

TEL：047-467-4920

E-mail：seifuku.bank@gmail.com

〔NPO法人環境を考える市民の会〕

記入日：平成30年4月1日

【団体の概要】

私たちは昔のようなゆとりある「海老川」環境を取り戻し地域住民の幸せかつ安全な生活環境を構築するため、海老川界隈の水環境の再生と保全に向けテーマ設定施策事業を実施しています。



【11月12日地域の自然との触れ合い】

事業報告

【支援金確定額：105,773円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

- 1) 出前学習の普及啓発実施
八栄小学校：7月14日(月) 4年生150名 (海老川の水、歴史、橋と像、植物)
宮本小学校：6月29日(木) (水質検査の意義と仕方、海老川での活動)
- 2) 夏休み子供環境「学びの場」
木の実の森、飯山満公民館：8月20日(日) 20名参加 (植物採集、暦作り)
- 3) 地域の自然との触れ合い
「森(木)と川」11月12日(土)
(飯山満川界隈の湧き水、森の巨木、史跡、俱利伽羅不動尊、二宮神社、飯山満緑地、ドーナツ池、揺るぎ地蔵尊、飯山満調節池の造設を知る)
- 4) 海老川写生会と自然観察
3月30日(金)実施

■支援金の支出内容

- 1、報償金は諸事業の講師料として使用
- 2、消耗品費は工作用原材料及び器具、消耗品及び教材資料などの都度の資料印刷用インクカートリッジ、紙などに消費
- 3、印刷製本・環境学習用に役立てるためのパンフレット作成 500部
募集チラシと事業ごとおしらせ、その他諸都度のコピー
- 4、通信費は都度事業の啓発、募集、切手、ハガキ代
- 5、使用料は地域の自治会館を実行委員会の会議と事業用に借用
- 6、その他、環境学習、自然観察用に聴音器、双眼鏡



【宮本小学校環境学習・川の水検査】

■事業の成果と今後の展望

昔より海老川は船橋の生活の動線として船橋発祥発展の要と位置付けられ親しまれてきました。この海老川界隈の環境、里山、谷津田の自然こそが先人の残した尊い遺産だと思っています。私達は、これから先も環境に対する更なる活動の展開を継続して実施し、環境問題を深く考え、良好な環境を次世代に継いでいけるよう頑張りたいです。

■問い合わせ先：事務局長 菊地 けい子 (きくち けいこ)

TEL：047-465-7790 E-mail：kikuchi-14719@lake.dti.ne.jp

〔三番瀬写真展実行委員会〕

記入日：平成30年3月30日

【団体の概要】

三番瀬写真展を企画・運営し、千葉県民を始めあらゆる人々に対して、三番瀬に関する写真等の画像資料の作成・紹介に関する事業等を行い、三番瀬の再生・保全に寄与することを目的とする。



【作品「ETとの出会い」】

事業報告

【支援金確定額：13,849円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

生物多様性啓発運動の一環として、より多くの方々に「生き物たちとのふれあい」をとおして魅力を体験していただき「いのちを育む三番瀬」の魅力を発信する為に、自然観察・撮影会と「みんなの三番瀬写真展」への出品作品を制作しました。

当日の潮が引いた夏の浜辺には、青潮の影響で命を落としたガザミ・アカエイ・ハゼ等や、それらを捕食するウミネコ、サギ等の姿。砂に含まれるミネラルを補給するコメツキガニの作り出す砂団子により、偉大なる砂のじゅうたんの誕生。「いのちを育む三番瀬」の生物多様性と食物連鎖を垣間見ながら、参加者たちは「第5回 みんなの三番瀬写真展」の作品出品の為に観察・撮影し、作品を手作りしました。

作品は11月28日（火）～12月3日（日）に「第5回 みんなの三番瀬写真展」に（船橋市民ギャラリー）貝殻工作や流木のオブジェ等と共に展示し、三番瀬の魅力を発信しました。

「これぞ市民力！」と励ましの言葉を多くの方々からいただきました（写真展には255名来場）。

■支援金の支出内容

船橋市民ギャラリーの会場費、ポスター、チラシ代、会場で貝殻工作をするビーズ、テグス、そして作品の搬入・搬出に伴う駐車場代金に使わせていただきました。
ありがとうございました。



【作品「女の子」】

■事業の成果と今後の展望

参加者と来場者の多くから継続を切望され、会員で協議の結果、平成30年度も「千葉県環境再生基金助成事業：県民の環境活動支援事業」の支援金をいただき、《私たちの三番瀬自然観察・撮影会》を開催する。

期日：9月24日（月・振替休日）

内容：船橋市民ギャラリー第2ホールに集合後、路線バスで船橋三番瀬海浜公園にて観察と撮影行い、その後、船橋市民ギャラリーで作品作りと展示体験。

写真展は9月26日（水）～9月30日（日）に船橋市民ギャラリー第2ホールにて開催。

■問い合わせ先：代表 中村 ひろ子（なかむら ひろこ）
TEL：080-4203-1278

E-mail：nhik1288@softbank.ne.jp

〔船橋市援農クラブ〕

記入日：平成 30 年 5 月 10 日

【団体の概要】

1. 船橋市内、農家の農作業全般に対してのお手伝い
2. 船橋市内の遊休地の保全活性化を図る
 - ①遊休地に野菜の栽培を行う、会員の農業技術向上
 - ②野菜の栽培を通して、農業実習体験、収穫体験
 - ③収穫野菜の施設等に提供
3. 倶楽部の活動を通して会員仲間と生きがいを共有しながら充実した活動を行う



事業報告

+

【支援金確定額：149,894 円 支援率：50%】

【農業ボランティア作業】

■実施した事業の内容

1. 農家のお手伝い

1 年を通して、14 軒の農家に対し農業全般の援農ボランティアを実施した。

2. 遊休地の環境保全

遊休地約 10 反の畑に野菜全般の栽培を実践

春夏、秋野菜を栽培して、収穫野菜を福祉施設、船橋市農業まつり等に提供

サツマイモ、ジャガイモ、落花生等については施設学校、幼稚園等の収穫体験の実施

収穫野菜の直売会の開催、年間 5 回実施

3. 事業実績

29 年 6 月 野菜の直売会

29 年 7 月 施設に野菜の提供

29 年 10 月 11 月 船橋市支援学校 3 回、NPO 法人 1 回、幼稚園 1 回

29 年 11 月 船橋市農水産まつり協賛農産物の提供

29 年 11 月 野菜の直売会

29 年 11 月 施設に野菜の提供

■支援金の支出内容

主たるものは、遊休地環境保全活動維持のため、たい肥、種子、苗、消耗品等に支援金を支出した。

また、農耕器具の付属品、消耗品等にも支出した。

遊休地対策に寄与が出来ましたことを感謝いたします。



【サツマイモ掘り体験の様子】

■事業の成果と今後の展望

援農倶楽部の活動は 5 年という節目を迎えることが出来ました。30 年度には倶楽部会員が 50 名近くになり、受け入れ農家も徐々に増えてまいりました。

遊休地保全是 10 反を維持しながら農業ボランティアをより充実してまいります。

今後は、耕作放棄地の保全にも力を入れていくよう頑張る所存です。

■問い合わせ先：代表 野口 廣之 (のぐち ひろゆき)

TEL：047-422-1127

E-mail: -

船橋市 市民生活部 市民協働課
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
TEL : 047-436-3201
FAX : 047-436-2299
E-mail : shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp